

ほんがいっぱい



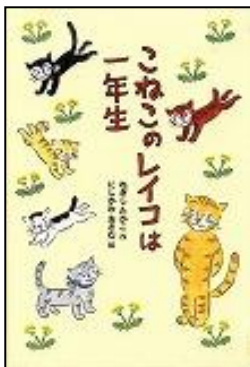
よんでみよう!

1・2年生のための本

①『こねこのレイコは一年生』

ねぎしたかこ／作 にしかわおさむ／絵 のら書店 《Fネ》

電気屋さんのうちにすむこねこのレイコは、ねこの小学校にかようことになりました。きょうのしゅくだいは、おうちのひとのおてつだいをすることです。レイコはおるすばんをたのまれましたが、もっとすごいおてつだいがしたくなりました。そこで、アンテナこうじについていくことにしましたが…。



②『みやこのいちにち』

こにしえいこ／作 ふくいんかんしよてん 福音館書店 《Eコ》

山の中にすんでいるこぎつねのこんは、おいしいものやきれいなものがあるというみやこにいったみてたくてたまりません。でもじいちゃんをあぶないから、もっとじょうずにばけられるようになるまではダメだといひます。あるひ、こんは、みやこへいくじいちゃんのかごにしのびこみました。



ところざわりつところざわとしょかん ねん
所沢市立所沢図書館 2015年

③『ナースになりたいクレメンティン』

サイモン・ジェームズ／作 ふくもとゆみこ／訳 いわさきしよてん 岩崎書店 《Eジ》

クレメンティンは、おたんじょうびにナースのせいふくときゅうきゅうセットをもらいました。さっそくかぞくみんなにほうたいをまいてあげたのですが、おとうとのトミーだけは、なかなかけがのてあてをさせてくれません。そんなとき、トミーが木からおりられなくなってしまって…。



④『こぶたのピクルス』

こかせ 小風さち／文 ぶん なつめ 夏目ちさ／絵 え ふくいんかんしよてん 福音館書店 《AFコ》

朝です。こぶたのピクルスは学校へいくまえに、わすれ物がないか、てんけんしました。「よし！わすれ物はひとつもなし！」とちゅう、牛の牛乳屋さんにあいました。「いのぶたさんの家に、牛乳をはいたつするのを、わすれてきたぞ。」それは、たいへん！ピクルスがかわりにとどけることになりましたが…。



⑤『どれみふあけろけろ』

ひがしくんべい 東君平／作・絵 え あかね書房 《AFヒ》

およぐのがにがてなたつくんは、「かえるになりたいな」とつぶやきました。そのとき、からんからんとかねがなって、「あおがえるたけしくん」とよばれました。たつくんはいつのまにか、かえるがっこうのせいとになっていたのです。たつくんは、およぎのじょうずなかえるになるために…。



⑥『ちいさなワオキツネザルのおはなし』

オフィーリア・レッドパス／作・絵 さく え まつなみ さち こ やく 松波佐知子／訳 とくましょてん 徳間書店 《Eレ》

ワオキツネザルの子どもは、わるものにさらわれて、きたぐににつれてこられてしまいました。すきを見てにげだしたワオキツネザルは、ラルビーさんのおうちにかくれます。ワオキツネザルはシロップをのんだり、おかしをたべたり。ラルビーさんふうふは、むすめのララがやったのだとおもって…。



⑦『ゆらゆらチンアナゴ』

よこつかま こ と 横塚眞己人／しゃしん えぐち えり 江口絵理／ぶん ほるぶ しゅつぱん ほるぶ出版 《48》

ゆらゆらゆらゆら、海の中のチンアナゴ。砂の中から、ニョロニョロとかおを出す。はんぶん砂にうまって、立ってるみたい。これって魚？それともへび？ミミズ？いったいどんな生き物なんだろう…。おや？みんないっせいに穴から体をのぼしはじめた。どうしたのかな？



⑧『みつけたよ さわったよ にわのむし』

さわぐち 澤口たまみ／ぶん たなか きよ 田中清代／え ふくいんかんしょてん 福音館書店 《48》

うちのには、むしがいっぱい！さわるとまるくなるダンゴムシ。さわってもまるくならないワラジムシ。あしがいっぱいはいえて、はしるのがはやいゲジ。いしについたふくろにはいつているふしぎなジグモ。まだまだたくさんむしがいるよ。きみも、おにわでさがしてみよう！！



⑨『おかしなゆきふしぎなおこり』

かたひらたかし 片平孝／写真・文 しゃしん ぶん ポプラ社 《45》

ゆきはたかいそらでうまれたちいさなおこりのつぶ。つもるばしょによっていろいろなかたちになる。いわのうえにはだいふくみたいなふくらゆき。もりのなかにはひとのかたちにつもったゆき。ゆきやおこりはみずのなかま。つめたいくうきがみずをいろいろなかたちにかえるんだよ。



⑩『ろくべえ まってろよ』

はいたにけんじろう 灰谷健次郎／作 さく ちやうしんた 長新太／絵 え 文研出版 《Eチ》

いぬのろくべえが、ふかいあなにおちてしまいました。「ろくべえ、がんばれ！」こどもたちは、なんとかたすけようとして…。

⑪『ワニのライルがやってきた』

バーナード・ウェーバー／さく こすぎ さ え こ 小杉佐恵子／やく だいにっぽんとしよ 大日本図書《Eウ》

プリムさん一家がひっこしてきた家のおふろばにいたのは、なんと、ワニ!! それも、さかだちやフーフープができちゃうんだって。

⑫『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル／作 さく 三木卓／訳 み きたく やく ぶん かしゅつぱんきょく 文化出版局《AEロ》

あたたかなはるのひ、かえるくんはともだちのがまくんをおこしにやってきました。でも、がまくんはどうしてもおきてくれません。

⑬『ゆうびんやさんはだれ?』

ルース・エインワース／作 さく 河本祥子／訳・絵 こうもとさちこ やく え ふくいんかんしょてん 福音館書店《AFエ》

にわにすむどうぶつたちは、てがみをだしたくてもゆうびんやさんがいません。そこで、ねことりすと、いぬがなのりをあげましたが…。

⑭『パンのかけらとちいさなあくま』

うちだり さ こ 内田莉紗子／再話 さいわ ぼりうちせいいち が 堀内誠一／画 ふくいんかんしょてん 福音館書店 《M》

あるところに、とてもびんぼうなきこりがいました。きこりがもりへしごとと行くと、そこへちいさなあくまがやってきて…。

⑮『だごだごころころ』

いしぐろなみこ 石黒漢子／再話 さいわ かじやまとしお 梶山俊夫／再話・絵 え 福音館書店 《M》

ころがるだんごをおいかけて、おばあさんがあなのなかにはいつていくと、そこにはおおきなあかおにがいて…。